

研究課題番号	1-2105
研究課題名	汚泥濃縮車を活用した浄化槽汚泥の収集・運搬・処理過程における環境負荷削減効果の網羅的解析および最適活用方法の提案
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	日本環境整備教育センター
研究代表者名	濱中 俊輔

1. 委員の指摘及び提言概要

計画通りに、予測・試算につながる基盤が整い始めたと認識した。検証から色々なデータが得られているが、その汎用性等、確認が必要ではないか。全体において資源化が一定の重みを持つが、現状では実験室実験のレベルであり、社会実装についてタイムスケジュールを明確にしてもらいたい。指摘があった汚泥性状の一般性（COD 対窒素分など）は、十分に検討する必要があると思われる。本プロジェクトの最終的な目標である網羅的評価に向けての準備・進捗・課題について、もう少し説明されてもよかった。誌上および口頭の発表がサブテーマ2からしかないが、他のサブテーマからの発信も期待する。本成果を環境行政（国、地方自治体）へ反映すべく、必要な項目は何なのかを挙げ、関係する方々と対応いただくと良いと思う。

2. 採点結果

評価ランク：A